



中国木造住宅の現状と日本企業参入の可能性

(株) 呉建築事務所代表

呉 東航 (ウー ドンハン)

- 1963年 中国広州市生まれ
- 1984年7月 中国華南理工大学建築学科卒業
- 1984年7月 中国広東省建築工程総公司技師長室勤務
- 1987年10月 日本に留学
- 1994年3月 東京大学大学院博士課程修了、博士(工学)
- 1995年4月 黒沢建設株式会社を入社
- 1996年1月 一級建築士資格を取得
- 1997年9月 個人事務所を創設
- 2002年9月 建築環境ワークス協同組合専務理事を兼任
- 2008年 構造設計一級建築士資格を取得
- 2008年～ 独立行政法人 雇用・能力開発機構非常勤講師
- 2013年3月 中国清華大学客員教授に就任予定

0-1 プロフィール

- 0-1 プロフィール
- 0-2 中国活動と出版

- 1-1 中国の木造住文化
- 1-2 中国の木造建築の現状
- 1-3 木造の教育

- 2 日本企業の参入例
- 3 市場参入のポイント

内容概要



0-2 中国活動と著書



中国建筑工业出版社
2009年



住まいの学校
2012年



1-1 中国の木造住文化



1-3 木造の教育

- 正確の統計はないが、年間2000棟位
- 木造=2×4工法（北米の進出）
- 需要はほとんど別荘、観光宿泊施設
- エコ、健康的なイメージが定着
- コストはRCより高い
- 木造の職人はほとんどいない



2200元/㎡
(10万円弱/坪)

- 新しい「木結構設計規範」が2013年から実施予定
- 「規範」には2×4工法の壁量や仕様規定などが含まれている
- 明確な耐火規定がなく、新しい防火耐火規範は検討中
- 一般的に木造3層まで認められ、天津には4階建てのホテル実例がある（2×4）



展示会の木造商品住宅

1-2 中国木造建築の現状



2 日本企業の参入例

- 中国西南部某市
- 中心から30kmの郊外
- 連棟式
- 開発規模は約2000戸



モデルハウスの外観



リビング



玄関



ダイニングと階段



- 住文化の輸出
 - 規範制定に参加する
(材料規格、仕様規定、計算方法)
 - 人材育成に参加する
(設計者、職人)
 - コストコントロール
- 3 市場参入のポイント**



ご清聴ありがとうございました。
